



地域医会だより

県央皮膚科医の会

2023年度は県央皮膚科医の会および大和市皮膚科医会の講演会をWebにより開催いたしました。

●第17回県央皮膚科医の会

日 時：2023年11月16日（木）

会 場：ZoomによるWeb配信

テーマ：当科におけるアトピー性皮膚炎治療

講 師：横浜市立大学附属市民総合医療センター皮膚科部長 金岡美和先生

●第18回大和市皮膚科医会

日 時：2023年6月22日（木）

会 場：ZoomによるWeb配信

テーマ：多汗症と腋臭症の切っても切れない関係

講 師：ふじた形成外科・皮膚科クリニック院長 藤田研也先生

（文責：矢口 厚）



地域医会だより

横浜市皮膚科医会

横浜市皮膚科医会は2016年4月から会長を8年間務められた増田智栄子会長が4月の総会をもってご退任され、引き継いで畑が会長を務めさせて頂くこととなりました。

●2023年度事業報告

1. 例会

①第164回例会

日 時：2023年4月8日（土）

担 当：南地区

会 場：新井ホールとWebとのハイブリッド開催

共 催：協和キリン株式会社、レオファーマ株式会社

参 加 者：現地34名、Web59名 合計93名

教育講演：ドボベット[®]フォームが切り拓く尋常性乾癬治療のこれから

講 師：東京慈恵会医科大学皮膚科学講座主任教授 朝比奈昭彦先生

病院紹介：横浜市立大学附属市民総合医療センター 金岡美和先生

特別講演1：知っておきたい！疥癬の診療 診断から集団発生の対応

講 師：赤穂市民病院皮膚科部長 和田康夫先生

特別講演2：炎症性皮膚疾患をもつ高齢者の診療

講 師：国立長寿医療研究センター副院長・皮膚科部長 磯貝善蔵先生

②第165回例会（神皮との共催）

日 時：2023年7月2日（日）

担 当：三上万理子先生

会 場：新井ホールとWebとのハイブリッド開催

共 催：佐藤製薬株式会社

テ ー マ：皮膚感染症

参 加 者：現地63名、Web87名 合計150名

特別講演1：実臨床におけるネイリンの有用性 ―再投与に関する多施設共同臨床研究結果も含めて―

講 師：仲皮フ科クリニック院長 仲 弥先生

特別講演2：皮膚感染症において変貌するメチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）―本邦における流行株の変遷と最新の特徴―

講 師：東京薬科大学薬学部医療薬学科臨床微生物学教授 中南秀将先生

③第166回例会

日 時：2023年10月19日（木）

担 当：北地区

会 場：ハイアットリージェンシー横浜21階「スカイバンケット」とWebとのハイブリッド開催

共 催：サンファーマ株式会社

参 加 者：現地21名、Web46名 合計67名

教育講演：ざ瘡は炎症のコントロールが大切！～瘢痕を残さない急性炎症期そして維持期の治療とは？～

講 師：新宿南口皮膚科院長 乃木田俊辰先生

病院紹介：横浜労災病院 佐藤勘治先生

特別講演Ⅰ：今、子どもたちに起きていること ～マスクによるざ瘡などの皮膚トラブル及び今問題の児童虐待について～

講 師：日野治子先生

特別講演Ⅱ：病診連携をスムーズに進めるための形成外科的基礎知識 ～できれば小児を中心に

講 師：横浜労災病院形成外科部長 山本 康先生

2. 市民公開講座

日 時：2024年3月10日（日）よりYouTubeで配信

テーマ：あなたの爪は大丈夫？ 意外に多い！爪みずむしのお話

担 当：神奈川はた皮膚科クリニック院長 畑 康樹先生

3. 医師会関連イベント

①ラジオ日本「みんなの健康ラジオ」

日 時：2023年7月20日（木）と27日（木）

担 当：高橋さなみ先生

テーマ：蕁麻疹についてもっと知ろう

日 時：2024年2月15日（木）と22日（木）

担 当：江川ゆり先生

テーマ：接触皮膚炎（かぶれ）

②第31回横浜臨床医学会学術集談会

日 時：2023年12月2日（土）

会 場：横浜崎陽軒本店6階会議室

演 題：乾癬の新しい治療と病診連携について

演 者：蒲原 毅先生

座 長：村上富美子先生

③みんなの健康「こんな時どうする」

テーマ：円形脱毛症

担 当：渡辺絵美子先生

掲 載：296巻 9・10月号掲載

④第18回横浜市医師会市民公開講座

日 時：2023年7月9日（日）

会 場：横浜市医師会6階会議室

テーマ：こどもの赤あざ、青あざ、茶あざ、いつ、どう治療する？

講 師：馬場直子先生

⑤2023年度がんに関する医師研修事業

日 時：2024年1月17日（水）

会 場：横浜市医師会6階会議室

参加者：24名

テーマ：悪性黒色腫の診断と治療

講 師：横浜市立大学助教 石川秀幸先生

4. 企画委員会・例会準備会など（出席者は全て敬称略）

①横浜市皮膚科医会 第167回例会企画委員会

日 時：2023年7月19日（水）19時30分～

会 場：田辺三菱製薬株式会社横浜南営業所（ハイブリッド）

共 催：田辺三菱製薬株式会社

参加者：浅井、内田、江川、小野田、川口、蒲原、澤田、宋、高橋さ、畑、布施、増田、三上、村上、山川
計15名

②横浜市皮膚科医会 第166回例会準備会

日 時：2023年9月7日（木）20時～

会 場：Web

共 催：マルホ株式会社

出席者：浅井、池田（佑）、江川、川口、河原、佐藤、澤田、宋、高橋さ、畑、増田、村上、山川、渡辺（絵）
計14名

③横浜市皮膚科医会 第169回例会企画委員会

日 時：2023年12月20日（水）19時30分～

会 場：TKP横浜西口（ハイブリッド）

共 催：科研製薬株式会社

参加者：江川、岡澤、金岡、川口、河原、蒲原、澤田、宋、高橋さ、羽尾、畑、増田、三上、村上、渡辺（憲）

山川 計16名

④横浜市皮膚科医会 第167回例会準備会

日 時：2024年2月15日（木）20時～

会 場：Web

共 催：田辺三菱製薬株式会社

参加者：浅井、内田、江川、小野田、蒲原、川口、河原、澤田、宋、畑、布施、増田、村上、山川 計14名

5. 表彰者

増田智栄子先生：国保事業関係功績者厚生労働大臣表彰

杉田泰之先生：横浜市医師会学術功労者を推薦し承認

2024年3月19日（火）の医学研修の日に表彰（横浜ベイシェラトン）

三上万理子先生：神奈川県医師会より学術功労賞表彰

2023年11月23日（木）の第65回神奈川医学会総会・学術大会にて表彰

6. メーリングリストの活用

現在146名

以上の如く、増田会長が目標とする「お互い顔の見える地域皮膚科医会」を継承しつつ、参加している会員が楽しめるような医会を目指してこれからも邁進していきます。

（文責：畑 康樹）



地域医会だより

鎌倉市皮膚科医会

●2023年度活動報告

日 時：2024年3月7日（木）19時～20時

会 場：Web配信

演 題：ドボベットフォーム®を2年余り使用して感じたこと

講 師：いがらし皮膚科東五反田 五十嵐敦之先生

（文責：原 尚道）



地域医会だより

藤沢市皮膚科医会

例会

●2023年

日 時：2023年7月12日（水）19時25分～20時45分 Web配信

講 師：日吉メディカルクリニック 齋藤昌孝先生

テーマ：日常よく見かける爪疾患の診断と治療

共 催：佐藤製薬株式会社

日 時：2023年11月15日（水）19時30分～20時30分

会 場：藤沢商工会議所ミナパーク302会議室

講 師：東海大学医学部付属病院皮膚科教授 馬淵智生先生

テーマ：帯状疱疹とワクチンのおはなし

共 催：田辺三菱製薬株式会社

●2024年

日 時：2024年3月27日（水）19時～20時5分 Web配信

講 師：東京慈恵会医科大学附属柏病院皮膚科診療部長 遠藤幸紀先生

テーマ：PDE4阻害薬が乾癬治療にもたらしたものは？～いまだわからぬアプレミラストを語りつくす～

共 催：アムジェン株式会社

（文責：小林誠一郎）



地域医会だより

川崎市皮膚科医会

●川崎市皮膚科医会第21回定時総会・第30回川崎市皮膚科医会例会

第21回川崎市皮膚科医会定時総会の議案は、昨年度と同様に事前に会員に郵送し、書面での議決となりました。期限までに返信のあった41票の有効票のうち、全ての議案において賛成41票であり、第1号議案「令和4年度事業報告に関する件」以降、第5号議案「役員人事に関する件」まで、会則に則り全ての議案が可決されたことを総会で報告しました。また、令和5年度版川崎市皮膚科医会会員名簿と、川崎市皮膚科医会会報第18号を会員に郵送にて配布しました。

第30回川崎市皮膚科医会例会（学術講演会）はハイブリッド開催となり、下記の要領で開催しました。

●第30回川崎市皮膚科医会例会（学術講演会）

日 時：2023年10月4日（水）

会 場：ホテルARU KSP

テーマ：再発性の単純疱疹治療UP DATE ～ PIT新しい選択肢への期待～

講 師：まりこの皮フ科院長 本田まりこ先生

座 長：井上医院院長 井上奈津彦先生

共 催：川崎市皮膚科医会、川崎市医師会、マルホ株式会社

単純ヘルペス感染症の病態から最近話題の再発性の単純ヘルペスに対する治療法であるPITまで、大変わかり易くご講演していただきました。

●川崎市市民公開講座

今年度も新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、川崎市市民公開講座の開催は中止となりました。

（文責：渡部秀憲）

○ ○ ○ ○ ○

地域医会だより

三浦半島皮膚科懇話会 横須賀市医師会皮膚科部会

●第53回三浦半島皮膚科懇話会・第36回横須賀市医師会皮膚科部会学術講演会

日 時：2024年2月3日（土）16時～

会 場：メルキュールホテル横須賀（ハイブリッド開催）

製品説明：「アメナリーフ[®]錠200mg」マルホ株式会社

特別講演：単純疱疹診療の診断と治療 Update

座 長：湘南野比すぎやま皮ふ科院長 相山秀昭先生

講 師：山梨大学医学部皮膚科学講座教授 川村龍吉先生

カリキュラムコード：26.発疹

共 催：三浦半島皮膚科懇話会、横須賀市医師会皮膚科部会、横須賀市医師会、三浦市医師会、マルホ株式会社

【講演概要】

単純疱疹診療の診断と治療 Update

山梨大学医学部皮膚科学講座教授 川村龍吉先生

単純疱疹は、単純ヘルペスウイルス（Herpes Simplex Virus：HSV）に起因する皮膚科領域で最も患者数の多い感染症であり、ストレスや免疫力の低下などをきっかけに再発をくり返す疾患である。再発性の単純疱疹では、多くの患者は初期症状として患部の違和感や灼熱感等を認め、その後皮膚や粘膜に病変を形成する。HSVは皮疹発現時にウイルス量がほぼピー



左から相山秀昭先生、川村龍吉先生、菅谷和江先生、松岡晃弘

クを迎えるため、初期症状にいかにも早く気が付き、速やかに抗ヘルペスウイルス薬の投与を開始できるかが治療のポイントである。

近年、単純疱疹診療を取り巻く環境は診断や治療の面で特に大きな変化を迎えている。診断においては、2023年にイムノクロマト法を測定原理とするHSV抗原の迅速検出キットが保険収載された。単純疱疹は、典型例では臨床所見で診断が可能なものの、中には带状疱疹等との鑑別に苦慮する例もあるため、検査の選択肢が広がったことは有益と考える。

治療においては、2019年に再発性の単純疱疹に対するファムビルによるPIT (Patient Initiated Therapy) が保険適応となり、2023年にはアメナリーフによるPITが可能となった。PITはあらかじめ薬剤を処方し、初期症状に基づき患者自身の判断で服用を開始する治療法である。HSVの挙動や宿主免疫の経時的变化を考えると理にかなった方法であり、症状の未発現あるいは軽減が期待できる。再発性の単純疱疹の患者は、医療者が思っている以上に疾患に対する悩みが深い一方で、再発時にタイミングよく受診することができていないケースが多い。PITはこのような患者のアンメットニーズに応えることが可能であり、患者自身が疾患をコントロールできるようになることでQOLの向上が見込まれる。英国では年間の再発頻度が5回以下の患者の約半数にPITが実施されているなど、広く医療現場に普及している治療法であり、本邦でも標準治療として普及していくことが望まれる。昨年、保険適応となったアメナリーフのPITは、単回投与であること、年間再発回数を問わずに処方可能であること、腎機能による用量調節が不要であることが特徴であり、より多くの再発性の単純疱疹患者においてPITが可能となった。

本講演では、皮膚ウイルス疾患として再発性の単純疱疹を主にピックアップする。PIT実施のメリットについて医療者側と患者側双方の視点で考えるとともに、よりよい治療の選択肢を検討する機会としたい。

(文責：松岡晃弘)



地域医会だより

小田原皮膚科医会

2023年度、小田原皮膚科医会は下記のような学術活動をおこないました。

●第712回 小田原医師会・足柄上医師会合同学術講演会

日 時：2023年9月21日（木）19時

会 場：おだわら総合医療福祉会館 4階ホール

演 題：皮膚から診る全身性疾患 ―乾癬と膠原病―

演 者：横浜市立大学大学院医学研究科 環境免疫病態皮膚科学教授 山口由衣先生

座 長：根岸皮膚科 院長 根岸 晶先生

後 援：マルホ株式会社

●神奈川県西エリア アトピー性皮膚炎講演会（Web開催）

日 時：2023年9月25日（月）19時

会 場：おだわら市民交流センター UMECOより配信

演題1：小児のアトピー性皮膚炎治療

演 者：小田原市立病院 小児科部長 小堀大河先生

座 長：浜町小児科医院 院長 遠藤徳之先生

演題2：進化するアトピー性皮膚炎治療と患者指導の重要性

演 者：あたご皮フ科 副院長／東京通信病院皮膚科 客員部長 江藤隆史先生

座 長：横田小児科医院 院長 横田俊一郎先生

閉会の辞：大林医院 大林寛人

後 援：大塚製薬株式会社

(文責：大林寛人)



地域医会だより

茅ヶ崎医師会皮膚科部会

今年は茅ヶ崎医師会皮膚科部会からの活動報告は特にありません。

(文責：眞鍋泰明)



地域医会だより

平塚市医師会皮膚科部会

●2023年度活動報告

当会は、年に3回、例会を開催してきました。2020年1月に開催したのを最後に、新型コロナウイルス感染症流行のため、丸4年開催を断念していました。コロナがやっと沈静化したので、4年ぶりに2024年3月に例会を下記のごとく開催できました。年度末の急遽の開催だったため、予算がもうないとのことで、メーカーの協賛が得られず、運営を自分達だけでやりましたが、平塚市民病院の皮膚科の先生方と地域連携室との全面的なご支援で、特にトラブルもなく終わりました。やはりWebよりリアルの学会は聴きがいがあり、各講演に対し質問が多数あり、有意義に勉強しました。

●平塚市医師会皮膚科部会 第84回例会

日 時：2024年3月6日（水）19時～21時

会 場：平塚市民病院中会議室（新館地下1階）

プログラム

演題1：末梢動静脈疾患の診断と治療（19時～19時30分）

講 師：平塚市民病院血管外科科医長兼血管センター長 林 啓太先生

演題2：症例提示 紹介患者の経過報告（19時30分～20時）

講 師：手術症例を中心に：平塚市民病院皮膚科 作田隆義先生

非手術症例を中心に：平塚市民病院皮膚科 兵頭麻里先生

演題3：アトピー性皮膚炎 最近の話題と当院の取り組み（20時～21時）

講 師：平塚市民病院皮膚科部長 栗原佑一先生

（文責：木花 光）



地域医会だより

厚木市皮膚科医会

休会中。



地域医会だより

丹沢皮膚の会

●第46回丹沢皮膚の会学術講演会

日 時：2024年2月14日（水）20時～20時50分

会 場：秦野商工会議所

座 長：山本皮膚科医院院長 山本 修先生

演 題：再発性の単純ヘルペスのセカンドエフォート～PITのこれまでとこれから

演 者：医療法人すばる会理事長／菅井皮膚科パークサイドクリニック院長 菅井順一先生

再発性の単純ヘルペスでPIT療法を行うと施行回数が減り、年々再発数が減ってくる。また、带状疱疹のアシクロビル、バラシクロビル、ファムビルの带状疱疹後神経痛の差などをわかりやすくお話しして頂き、大変勉強になりました。

●神奈川県皮膚科医会第171回例会（第47回丹沢皮膚の会学術大会）

日 時：2024年3月3日（日）14時～16時50分

会 場：関内新井ホール

教育講演：虫刺症皮膚炎の臨床と対応～痒み対策から駆除対策まで

演 者：兵庫医科大学皮膚科学教授 夏秋 優先生

座 長：かとうひふ科医院 加藤正幸

特別講演：白斑治療 最近の動向

演 者：東北医科薬科大学医学部皮膚科学主任教授 川上民裕先生

座 長：秦野尾尻皮膚科 生駒憲広先生

教育講演は主にトコジラミについてご講演を賜り、トコジラミの生態、臨床像、好発部位、吸血の仕方、駆除、治療と対策について勉強させて頂きました。診断のポイントは、トコジラミを疑うこと。旅行、生活歴、家族内の同定、ウソ寝作戦でありました。1匹のメスが入っていたら出ることや、今年は多く出るだろうと予測されました。特別講演では白斑はwood灯で見る時代になり、活動性のある白斑パターンは、コンフィテーターなどがあり、JAK阻害薬（ルキソチニブ）外用が海外では使われていることなど最新の白斑治療について勉強になりました。
(文責：加藤正幸)



地域医会だより

相模原市医師会皮膚泌尿器科医会

●2023年度事業報告

2023年度の学術講演会を下記の通り開催いたしました。

●第227回学術講演会

日 時：2023年5月11日（木） 19時30分～20時30分

会 場：ユニコムプラザさがみはら ハイブリッド形式

講 師：藤田医科大学ばんだね病院総合アレルギー科教授 矢上晶子先生

演 題：皮膚科医が知っておきたいアレルギートピックス

共 催：相模原市医師会皮膚泌尿器科医会、田辺三菱製薬株式会社

●第228回学術講演会

日 時：2024年2月15日（木） 19時30分～20時40分

会 場：レンブラントホテル東京町田 B2F

講演 1

講 師：小杉町クリニック皮膚科形成外科院長 稲澤美奈子先生

演 題：クリニックで行う多汗症診療 ～ラピフォートワイプの使用経験を中心に～

講演 2

講 師：ひかり在宅クリニック 今井亜希子先生

演 題：皮膚科訪問診療・往診の実際とフットケアの役割

共 催：相模原市医師会皮膚泌尿器科医会、マルホ株式会社

(文責：高須 博)

広告掲載会社一覧（五十音順）

アクセース（株）	アッヴィ（同）	アムジェン（株）
ウシオ電機（株）	大島椿（株）	大塚製薬（株）
化研生薬（株）	科研製薬（株）	協和キリン（株）
グラクソ・スミスクライン（株）	クラシエ薬品（株）	小太郎漢方製薬（株）
佐藤製薬（株）	サノフィ（株）	サンファーマ（株）
大鵬薬品工業（株）	田辺三菱製薬（株）	（株）ツムラ
常盤薬品工業（株）	鳥居薬品（株）	日東メディック（株）
日本イーライリリー（株）	日本臓器製薬（株）	ノバルティスファーマ（株）
ブリistol・マイヤーズ スクイブ（株）	マルホ（株）	（株）ミノファージェン製薬
持田ヘルスケア（株）	ヤンセンファーマ（株）	ユーシービージャパン（株）
レオ ファーマ（株）	ロート製薬（株）	

